

プレスリリース(2022年11月4日)

オートリブ、筑波事業所・広島事業所にて100%再生可能エネルギー化

オートリブ株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:コリン・ノックトン)は、今年2月から筑波事業所で、今年10月から広島事業所でそれぞれ購入電力を100%再生可能エネルギー化いたしました。

オートリブはグローバル全体で、2030年までに自社のオペレーションにてカーボンニュートラルを達成し、 さらには2040年までにサプライチェーン全体を通して温室効果ガス排出ネットゼロを実現するというコミット メントを、2021年6月に自動車安全のサプライヤーとして初めて発表しました。

この目標を達成するために、当社では各事業所における購入電力の再生可能エネルギー化を行い、CO2排出量削減に取り組んでいます。各事業所の年間使用電力を全て再生可能エネルギー化することにより、筑波事業所では年間2,700トン、広島事業所は年間約1,500トンのそれぞれCO2排出量削減を見込んでいます。また現在建設中の中部事業所では、開業時から100%再生可能エネルギーを活用する想定で、当社としては、オートリブグローバルで掲げるCO2排出量削減目標を2024年末までに達成することを目指しています。

これからも、オートリブグローバルのビジョン「Saving More Lives (より多くの命を守る)」のもと、事業を通じて環境問題や社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

【筑波事業所】



【広島事業所】



オートリブのサステナビリティについて

オートリブグローバルのビジネスの中核は、「Saving More Lives (より多くの命を守る)」です。これは、当社のサステナビリティの枠組みの中心でもあります。当社のビジネスモデルを通じて、私たちは国連の持続可能な開発目標 (SDGs) のNo.3「すべての人に健康と福祉を」、No.11「住み続けられるまちづくりを」、No.17「パートナーシップで目標を達成しよう」に直接貢献しています。



道路交通事 故の死傷者 数を減らす



交通弱者を含めた全ての 人々にとって輸送システ ムをより安全なものにする



国連交通安全基金の支援を含め、SDGsの施策を進めるため、 多くのパートナーと連携する



以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

オートリブ株式会社 人事本部 採用・ブランディング室 六車(むぐるま)

E-mail: AJP-Comteam@autoliv.com

オートリブ グローバルについて

Autoliv, Inc. は、自動車安全システムをグローバル規模で提供するリーディングカンパニーです。当社は子会社を通して、世界中の主要自動車メーカー向けて、エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール (ハンドル) などの安全保護システムを開発、製造および販売しているほか、歩行者保護、二輪車のライダー 向けのコネクティッドセイフティサービスや安全ソリューションも開発しています。オートリブでは、継続して先進的なソリューションを提供するために、モビリティセイフティのスタンダードに挑戦し、再定義しています。

27カ国に広がる60,000人以上の従業員は、「Saving More Lives (より多くの命を守る)」という当社のビジョンに真摯に取り組んでおり、どんな業務においても品質を最も重視しています。14カ所にテクニカルセンターを配置し、20の衝突試験装置を保有しています。2021年度の売上高は、82億米ドルです。株式をニューヨーク証券取引所(NYSE: ALV)に、スウェーデン預託証券をナスダック・ストックホルム(ALIV sdb)に上場しています。

さらに詳しい情報は、以下を参照してください。

www. autoliv. com オートリブグローバルサイト (英語)